

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ナイストライ		2026年 8月 26日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	部屋の構造化やクッション材の設置により、利用定員に対して安全で広さを確保した空間を設けています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	児童一人ひとりの行動や情緒の特性に寄り添えるよう、余裕を持った人員配置と見守り体制を整えています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	部屋の構造が危険にならないように、コーナーガードやマットなどを設置している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	毎日の清掃だけでなく、週1回や月1回の掃除の場所なども担当を決めて設定しており、事業所全体が清潔を保てる様にしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	児童がストレスを感じた際、自ら落ち着ける特定のスペースに戻って過ごせる環境を確保しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	3		日々のMTGで改善を図っていますが、事業所全体のPDCAに広く職員が参画できるよう仕組みを整えます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	毎朝のミーティングで支援の振り返りを行い、事業所ルール等の業務改善に直結させています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		外部評価の実施機会が限られているため、第三者評価の受審を検討し、客観的な業務改善へと繋げます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2		研修機会の確保に課題があるため、法人内研修や外部研修の受講枠を順次拡大し支援スキルの向上を図ります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	支援方針や活動内容を毎回のミーティングで明確化し、計画に沿った適切なプログラムを提供しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	2		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	3		共有はされているが、個人の支援形態には差があるのが現状です。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	MTGで話し合いの機会はあるものの、その結果やアクションプランの共有が徹底しきれていない。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	運動学習や社会的スキルトレーニングなど、ガイドラインに沿った具体的な目標と支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	ARゲームやPCを用いたプログラミング等、児童の成長を促す活動内容をチーム全体で立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	室内でのARゲームやPC学習、児童館・図書館など屋外施設も活用し、活動の多様化を図っています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	2	図書室での個別活動やドッジボール等の集団活動を組み合わせ、本人の状況に応じた支援を実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	毎朝のミーティングで各児童の前日の様子や当日の支援方針、役割分担をチーム全体で確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	毎日の支援内容は議事録に残し、児童ごとの事実と対応をチームで振り返り共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		毎日の振り返り結果を記録・蓄積し、個別の指導や課題改善に速やかに反映する仕組みをより徹底していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的に児童の成長や変化を観察・記録し、本人や保護者の状況に応じた計画の見直しを適切に行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1	食後の歯磨きや片付け等の生活スキル、ARゲームでの運動、PCを用いた学習等を幅広い活動を取り入れています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	3		事業所のルールを提示した上で、譲り合いや代替活動を児童が選べるよう支援します。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	支援学級の担当者と情報共有を図り、下校時間や迎え時の出口動線等の連絡調整も密に行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4		新学期や進級に伴う不安への対応として、学校側の担当者との情報共有を強化し円滑な移行を支援します。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		専門機関との連携機会が不足しているため、地域の児童発達支援センターと協議し助言を得る機会を設けます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	地域の児童館などを積極的に利用し、複数名で楽しく遊ぶなど地域での交流機会を継続的に設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		自立支援協議会等への参加が不十分なため、地域ネットワークへ積極的に参画し情報共有を進めます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	登校不安への電話対応や送迎時の状況報告など、保護者と密に連携し状態の共通理解を図っています。	
保護者への	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		家族向けのプログラム機会が少ないため、日々の面談を通じて事業所の支援ノウハウ等の共有を進めます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	保護者との面談を随時実施し、事業所の教育方針と家庭の意向をすり合わせながら支援の同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		保護者交流の機会が少ないため、情報発信や懇談の場を設定し、保護者同士が支え合える環境づくりを進めます。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	騒音配慮としてドアの開閉ルールを即時設定するなど、トラブルを未然に防ぐため迅速に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1	登校不安のある児童に対し、保護者への条件付き電話連絡を運用するなど、安心できる連携を図っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		地域の行事参加等の機会が少ないため、騒音等への近隣配慮を継続しつつ地域交流の場を検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	各種マニュアルを策定・周知するとともに、定期的な訓練を実施して緊急時の対応力を高めています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	安全計画に基づき、室内遊具の破損確認や外遊び時の飛び出し予防など安全管理を徹底して支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	トイレ時の安全確保やヒヤリハット事例を翌朝のMTGで即時共有し、具体的な再発防止策を講じています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	3		自傷行為等の制止で身体介入が必要な場合があるため、対応手順を組織的に決定し保護者へ説明を徹底します。